

【第1号議案】令和4年度事業報告承認の件
(令和4年6月1日～令和5年5月31日)

[概要]

本年度は、4年続いたコロナウィルス感染症がようやく落ち着いて、国内はもとより、長浜においても観光が回復し空き店舗が埋まっていく有難い状況でした。特に本年は、秀吉公がまちを開いて450年という節目の年と重なり、これを祝う戦国フェスティバルが全市的に行われ、曳山まつりは13基が揃うおめでたい年となりました。途絶えていた視察が海外はじめ国内も徐々に戻り、新体制で動き始めた黒壁もグループ加盟希望の4店が登録を待っているところです。

何年もかかって京都大学や市民と調査・発掘した長浜の庭の紹介本「ながはまのお庭・総集編」が完成し、資金集めに行ったクラウドファンディングは理事各位の絶大なるご支援により目標額を集めることができました。感謝申し上げます。1,000冊の内、印刷会社にて300冊完売、CFにて200冊、自主販売も含めて700冊がさばり、国会図書館や各地の図書館にも贈らせていただきました。今後は季節ごとに文化事業として庭めぐりツアーなど企画していきます。

人事面では2年頑張ってくれた 〇〇さんが退職。後任として令和4年6月より、 〇〇さん、 〇〇さんに頑張ってもらっています。これまで他府県からの研修生が多かったのですが、長浜在住のふたりの参加は大変ありがたいと期待を寄せています。お子さんがまだまだ手がかかるので、当分はパートタイマーとして勤務します。

開所以来4半世紀、NPO取得後20年、黒壁とともにまちなかの信頼を得てきたまちづくり役場の今後の展開が課題です。

365日主な出来事

<令和4年>

- 6月4日 第8回 近世城下町ふるさと祭りにて観光ボガイドと「長浜遺産めぐり」を行う。盛況であった。
- 6日 黒壁G協議会6月例会。全店舗で今後「体験」を取り入れることになり1回目は分福茶屋のお茶席体験を行う。
- 7月4日 黒壁G協議会7月例会。2回目の体験は叶匠寿庵が行う。
- 7日 「ながはまの庭」1000冊入荷。

- 14日 黒壁グループ事務局として「長浜市湖の辺のまち未来ビジョン」補助事業に応募、採用となりイベントを計画実行する。
- 30日 長浜夏祭りに協力。
- 8月10日 お庭本を国立図書館や長浜市内の図書館に寄贈する。
- 17日 黒壁G協議会8月例会。
- 23日 県レイカディア大学生、案内と講座受け入れ。
- 25日 まちづくり役場令和3年度の理事会・総会開く。
- 9月8日 黒壁G協議会9月例会。
- 10月2日 アート・イン・ナガハマに協力。
- 8日 曳山交替式、きもの園遊会に協力。
- 12日 黒壁G協議会10月例会。
- 22日～11月6日まで 「黒壁・ガラスいいね」イベント開催。
- 24日 コロナ後初の韓国からの視察受け入れ。
- 11月5日 着物の集いに協力。
- 21日 城下町遺産選定委員つとめる。
- 12月15日 2023年度版まち歩きマップ会議。
- 21日 黒壁G協議会12月例会。

<令和5年>

- 1月10日 豊国神社「十日恵比寿」に協力。
- 30日 マップの参加店舗募集締め切り。全枠埋まる。
- 2月8日～3月8日 長浜のお雛さまめぐり開催。
- 23日 虎姫高校のピンクマスクデー事業に黒壁と協力し行った。
- 3月25日 京都大学公共政策大学院生交代式。
- 13日 黒壁グループ協議会総会。松井氏の2年継続決まる。
- 4月5日 まち歩きマップ25万枚届いて配布。
- 9日～17日 曳山祭り 13基全山出揃う。
- 18日 黒壁G協議会4月例会。
- 5月3日～6日 ゴールデンウィーク通行止め。コロナ後最高の人出。

以上

* 視察一覧は別紙

視察一覧(R4年6月～R5年5月31日まで)

番号	日付	都道府県	市町村	団体名	人数
1	8月29日	東京都	町田市	法政大学 武田ゼミ	9
2	9月15日	東京都	町田市	法政大学 武田ゼミ	17
3	9月29日	和歌山県	和歌山市	和歌山県庁企画部地域振興局地域政策課	4
4	9月30日	京都府	宇治市	宇治市健康長寿サポーター事務局 宇治市福祉サービス公社	26
5	10月5日	広島県	広島市	広島県議会「総務委員会」	13
6	10月12日	福井県	福井市	福井工業大学環境情報学部経営情報学科	6
7	10月14日	岐阜県	大野町	大野町立揖東中学校	6
8	10月22日	大分県	大分市	おおいたツーリズム大学	13
9	10月24日	韓国		韓国環境住居学会	9
10	11月2日	兵庫県	福崎町	福崎町経営者協会	20
11	11月17日	韓国		青年創業支援事業 教育生	16
12	11月20日	京都府	京都市	京都大学中嶋ゼミ	7
13	11月21日	三重県	伊賀市	上野商工会議所サービス部会	16
14	12月3日	韓国	済州島	大靜邑都市再生住民協議会	30
15	12月6日	韓国		韓国少商工人市場振興公団	5
16	12月23日	滋賀県	草津市	立命館大学経済学部 黒川教室研修会	25
17	3月14日	大阪府	箕面市	箕面商工会議所女性会	14
19	3月15日	岐阜県	羽島市	羽島市立中央中学校	125
20	3月26日	愛知県	名古屋市	中京大学総合政策学部 太田ゼミ	14
20	3月31日	東京都	港区	日本能率協会	3

21	4月20日	福井県	大野市	公益社団法人 大野青年会議所	26
22	5月16日	岐阜県	関市	関市立緑ヶ丘中学校	7
23	5月19日	岐阜県	羽島市	羽島市立中島中学校	69
24	5月21日	富山県	高岡市	富山県高岡商工会議所	7
合計					487

●取材及びヒヤリング

1	5月22日	滋賀県	彦根市	滋賀県立大学環境科学部
2	6月9日	京都府	京都市	京都大学公共政策大学院学生
3	8月19日	岐阜県	大野市	大野東中学校先生
4	8月22日	新潟県	新潟市	新潟ツアー一会社
5	10月7日	滋賀県	長浜市	六史会
6	10月29日			学生さん
7	11月10日	広島県	広島市	広島大学 相馬先生
8	11月10日	滋賀県	彦根市	滋賀大学 柴田先生
9	11月10日	岐阜県	岐阜市	岐阜大学 加藤先生
10	11月11日	東京都	文京区	中央大学法学部3年 学生
11	11月19日	京都府	京都市	京都大学中嶋ゼミ
12	2月7日	滋賀県	長浜市	虎姫高校
13	2月13日	福井県	福井市	福井工業大学

【第2号議案】令和4年度決算報告承認の件（別紙）
（令和4年6月1日～令和5年5月31日）

- ・ 活動計算書
- ・ 貸借対照表
- ・ 財産目録
- ・ 財務諸表
- ・ 監査報告書

別紙参照下さい

【第3号議案】令和5年度事業計画（案）承認の件
（令和5年6月1日～令和6年5月31日）

まちづくり役場は、秀吉博覧会の後継事業のひとつとして平成10年1月10日、博覧会関係者により立ち上げたところ。たまたま、博覧会に参加していた〇〇がプラチナプラザのオープンを手伝う傍ら事務所をあずかっていた。当時の黒壁は、まちづくり日本一との評判を集めており視察が増えていた。この視察をまちづくり役場が担うようになり連携が始まり、徐々に面白い場所になっていった。

もうひとつは、博覧会終了後にイベントのコーディネーターをつとめられた出島二郎氏による「出島塾」が人材育成塾として評判を集めた。「イエ・ミセ・マチ」をテーマに学習塾は2020年まで続き、地域づくりに興味をもつ学生たちが、まちづくりの研究者となり大学の先生にもなった。平成15年、出島氏により「町衆と黒壁の十五年」が出版され、発行元がまちづくり役場になったことにより、NPO法人を名乗りNPOの先行事例となった。

「まちづくりといえば…黒壁」。その後も黒壁はまちづくり会社として活躍。視察は5,000件を超えました。まちづくり役場も全国と出会うことにより知名度が上がり、文化価値を高める活動など行ってきましたが、変わらないといけない時期でもあります。〇〇さん、〇〇さんが入ってくれたことで、続いていく可能性を見出しました。理事たちが支えながら長浜のまちが続いていくことを希望します。

〇〇先生をお迎えしました。ご指導をお願い申し上げます。

令和5年度事業計画案

- ①コロナ後視察は順調に伸びているので、令和5年度は30件を目指す。

講演等外部への売り込みも黒壁以外で物語をつくりたい。

- ②黒壁グループ協議会の事務局はしっかり面倒みていきたい。
- ③まち歩きマップ 2023 年版は秀吉公の特別号を作成した。何かと変化を持たせないと続かない。12 月には次号の参加を呼び掛けるので、アイデアが欲しい。
- ④多くの大学生や社会人やまちづくりを生業にしている会社（例：能率手帳の事業展開など）への情報発信が必要。
- ⑤ながはまのお庭めぐりツアーを行う。良い季節に観光協会等と連携して定期的に企画を組む。

予算案は別紙

法人名： 特定非営利活動法人 まちづくり役場

活動計算書

2022 6月 1日 ~ 2023年 5月 31日 まで

(単位:円)

I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	45,000		
賛助会員受取会費	0	45,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金		0	
3. 事業収益			
自主事業収益	8,024,960		
受託事業収益	396,000	8,420,960	
4. その他収益			
受取利息	29		
貸貸・使用収入	96,500		
雑収益	200,000	296,529	
経常収益計			8,762,489
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	893,580		
法定福利費・福利厚生費	48,266		
人件費計	941,846		
(2) その他経費			
売上原価	3,395,491		
業務委託費	49,000		
旅費交通費	41,200		
発送運搬・通信費	94,539		
消耗品費	5,343		
会議費	79,387		
雑費	6,735		
その他経費計	3,671,695		
事業費計		4,613,541	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	600,000		
人件費計	600,000		
(2) その他経費			
消耗品費	161,573		
地代家賃	600,000		
水道光熱費	222,558		
租税公課	74,200		
通信費	124,986		
委託料	21,290		
会議費	52,725		
雑費	153,795		
その他経費計	1,411,127		
管理費計		2,011,127	
経常費用計			6,624,668
当期正味財産増減額			2,137,821
前期繰越正味財産額			2,649,513
次期繰越正味財産額			4,787,334

法人名： 特定非営利活動法人 まちづくり役場

貸借対照表

2023年 5月 31日現在

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,031,912		
売掛金	1,142,010		
未収金	120,000		
立替金・前払費用	0		
棚卸資産	534,463		
流動資産合計		5,828,385	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産計			
3. 投資その他の資産			
差入保証金			
固定資産合計		0	
資産合計			5,828,385
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	41,051		
前受金			
仮受金			
預り金			
流動負債合計		41,051	
2. 固定負債			
固定負債合計		1,000,000	
負債合計			1,041,051
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,649,513	
当期正味財産増減額		2,137,821	
正味財産合計			4,787,334
負債及び正味財産合計			5,828,385

法人名： 特定非営利活動法人 まちづくり役場

財産目録

2023年 5月 31日現在

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	12,484		
長浜信用金庫	2,246,618		
長浜信用金庫	792,801		
長浜信用金庫	980,008		
長浜信用金庫	1		
未収金			
売掛金	1,142,010		
会費未収金	120,000		
立替金・前払費用			
棚卸資産			
販売用書籍	534,463		
流動資産合計		5,828,385	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)投資その他の資産			
差入保証金			
固定資産合計		0	
資産合計			5,828,385
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用			
水道光熱費	14,271		
マップ送料他	26,780		
仮受金・前受金			
預り金			
源泉所得税			
未払消費税	0		
流動負債合計		41,051	
2. 固定負債			
固定負債合計		1,000,000	
負債合計			1,041,051
正味財産			4,787,334